

## 島根被害者サポートセンター

# ニュースレター

Vol.30



塩見縄手（松江市）

## やさしさで つなぐ広がる 支援の輪

当センターは、民間の被害者支援団体として、犯罪の被害者、  
そのご家族等に寄り添いながら途切れのない支援に当たります。

### 支援活動

- ☎ 電話・メール相談、面接相談
- ☎ カウンセリング
- ☎ 法律相談
- ☎ 病院、裁判所、行政機関等への付き添い支援
- ☎ 生活支援
- ☎ 関係機関と連携した支援 など

島根県公安委員会指定 犯罪被害者等早期援助団体

公益社団法人 島根被害者サポートセンター

相談専用電話(通話料無料)

(こころのすくい)

相談時間10:00~16:00(平日のみ)

**0120-556-491**



## しまね国際センターの業務と外国人被害者への対応に係る連携について



(公財)しまね国際センター  
相談コーディネーター

古 曳 町 子

しまね国際センターでは、島根県で暮らす外国人住民の総合的な生活等支援や多文化共生の地域づくり、地域住民の国際理解の推進や国際的な人材育成など、様々な取り組みを行っています。外国人住民向けの支援の中には、日本語学習機会の提供や外国にルーツを持つ子どもの学習支援、公共機関へのボランティア通訳の派遣などがあります。また、外国人住民の方の相談に応じるワンストップ型相談窓口「多言語相談Go-enしまね」をセンター内に設置し、相談員と多言語コールセンターによる22言語で対応しています。

島根県の外国人住民人口は、年々増加をしており、2022年12月末で9000名を超えました。その分生活全般に係る支援が必要となっており、相談件数も増加し、内容も複雑化、深刻化してきています。

日本人と同様に、外国人住民の中にもDVや児童虐待、犯罪に巻き込まれる等の問題を抱えている方がいらっしゃいます。ただ、日本語でコミュニケーションをとることが難しい場合、必要な情報を受け取ることができず、相談

先も分からないという問題に直面します。

そこで私共の相談窓口では、母国語で相談者の話をしっかりと聞き取りし、内容を整理した上で、情報提供や適切な専門機関への取次ぎを行っています。英語・タガログ語・中国語・ポルトガル語・ベトナム語の5言語は、常勤の相談員が電話のほか、対面・Zoom・メール・Facebookのメッセージでも相談に応じています。外国人住民だけでなく、外国人住民からの相談対応でお困りの日本人住民からも、相談を受け付けています。「多言語相談Go-enしまね」(070-3774-9329)の存在をまずは知っていただき、周囲の方へ伝えていただけますと幸いです。

島根被害者サポートセンターとは、平成29年から『被害者支援に関する通訳の派遣に関する申し合わせ』を行い、犯罪の被害に遭われた外国人の方への支援を行っています。連携することで、外国人住民も日本人住民も安心安全に暮らせる多文化共生の地域づくりを進めていきたいと存じます。今後ともよろしく願いいたします。

### 島根被害者サポートセンター 一日面接相談

～一人で悩まないでご相談ください～

島根県西部地区にお住まいの、犯罪や交通事故の被害に遭われた方、そのご家族等からのご相談にお応えします。

**【当面の開設予定日】**

2月27日(第4火曜日)

3月26日(第4火曜日)

4月24日(第4水曜日)

**【相談時間】**

12:00～16:00

**【開設場所】**

島根県立西部総合福祉センター

いわみーる3F相談室

(浜田市野原町1826-1 浜田ICから車で10分)



### 相談広報用チラシを 作成しました



県警と協働して、相談広報用チラシを作成しました。島根被害者サポートセンターの認知度を高めるため、各警察署や関係機関への配布、イベント等での配布等に活用しています。

## 令和5年度の活動を振り返ります

## 被害者支援を考える講演会の開催

講師 則竹 崇智 さん



令和5年11月3日(金・祝)、島根県民会館において「被害者支援を考える講演会」を開催しました。講師には「ポケモンGO」をしながらトラックを運転していた男性に、小学生の次男、敬太君をはねられ亡くされた則竹崇智さんをお迎えしました。

則竹さんは、事故当時敬太君が身につけていた潰れた水筒を手にし、「ながら運転は未必の故意」「皆がルールを守れば事故は防げる」などと訴えました。また、事故を目の当たりにした敬太君のお兄さんの言動等交えながら、事故は被害者だけでなくその家族も苦しい思いをすると語りました。

講演を続ける則竹さんに対し、SNSで誹謗中傷する人たちも沢山いたそうです。それでも則竹さんは「こんなに苦しい思いをする家族を絶対に増やしたくない」という想いで講演活動を続けておられます。

聴講者の中には涙を流している人も見られました。ハンドルを握る責任の重さを、今一度考える機会になったのではないのでしょうか。

## 【感想】～抜粋～

- 事故の衝撃を物語る水筒を見て、「壊れちゃった、直さない」と言ってお兄ちゃんの言葉が、事故は被害者だけでなくその家族の心にも深い傷を負わせるのだと改めて感じました。(20代女性)
- 交通事故を無くすことは一人ひとりの心がけで出来る事だという強い思いを受け止め、自分自身も事故防止に努めたいと思います。(50代男性)
- 当たり前にも暮らせていることがどんなに幸せなことか、それを奪われた則竹さんの苦しみ伝わってくるお話でした。車の運転、ながらスマホ、家に帰って家族で話し考えたいと思います。(50代女性)

## 中国・四国ブロック 質の向上上半期研修会の開催



9/9～9/10にかけて、松江市で「中国・四国ブロック質の向上上半期研修会」を開催しました。ブロック内から19名の支援員が受講されました。

ロールプレイなど実践的なものから刑法の一部改正についてなど、幅広い知識を学びました。

途中、機械の不具合等あり受講者の皆さまにはご迷惑をお掛けしました。

4年ぶりに開催された意見交換会では、被害者支援という同じ志をもつ仲間と語り合い、有意義な時間を過ごしました。



## 令和5年度 支援活動員養成講座の開催



《理事長 開会あいさつ》



《臨床心理士における講義》



《被害者遺族による講話》

6月3日から8月5日までの間（計5日間）支援活動員養成講座を開催しました。  
11名の方が全日程を終了し、そのうち4名の方が新しく支援活動員として採用されました。  
新しく支援活動員になられた方のご活躍を期待しています。

## 犯罪被害者週間の取り組み

### 街頭広報



11月25日、26日の2日間、イオン松江ショッピングセンターにおいて県警と協働し街頭広報及びパネル展示を行いました。

島根県警察音楽隊の演奏のほか鑿（<sup>どう</sup>太鼓）の演奏などがあり、買い物に来られた多くの方々が足を止めて見学されていました。

チラシやティッシュを配布し、犯罪被害者週間（11/25～12/1）の周知をはかりました。



音楽隊の演奏に、「みこぴーくん」もうっとり聴き入っています👂



「みこぴーくん」も  
どう  
鑿（太鼓）を  
体験！



# 「命の大切さを学ぶ教室」の開催



西郷中学校

講師 江角由利子さん（島根）  
演題 「亡くなった娘からの生命のメッセージ」



斐川東中学校

講師 一井彩子さん（大阪）  
演題 「命の大切さを考える  
～子どもたちを被害者にも加害者にもしないために～」

## 令和5年度「命の大切さを学ぶ教室」の開催状況

開催日	開催校	講師	開催日	開催校	講師
5月30日	都万中学校	江角由利子さん	7月11日	斐川東中学校	一井彩子さん
5月31日	西郷中学校	江角由利子さん	9月8日	三刀屋高校掛合分校	江角由利子さん
6月1日	松江第一中学校	三浦由美子さん	9月13日	出雲高等学校	江角由利子さん
6月9日	松江西高等学校	一井彩子さん	9月25日	松江工業高等専門学校	三浦由美子さん
6月16日	川本中学校	一井彩子さん	10月5日	開星中学校	江角由利子さん
7月7日	吉賀中学校	三浦由美子さん	1月31日	開星高等学校(予定)	江角弘道さん

受講された生徒の皆さんには、作文（感想文）を提出していただき、  
「大切な命を守る」全国中学・高校生作文コンクールへ応募させていただいています。

## 「大切な命を守る」全国中学・高校生作文コンクール受賞作品

### 『命』

警察庁犯罪被害者等施策推進課長賞 斐川東中学校3年 江角 玲香

今日の講演会で、自分が当たり前、他の人にとっても当たり前が事故に遭った家族や遺族の人たちにとってではなくなることを知りました。

私が生まれる前、祖母の子供である母の弟が歩行者側の一段高い道路を歩いていた時、後ろから飲酒運転をした車が時速八十キロメートルぐらいのスピードで乗り上げてきて、母の弟はなくなると祖母と母から聞きました。なくなると、裁判をして、飲酒運転をしていた方は、四年間刑務所に入ることになったと聞き、私は、人の命をうばっておいて、自分は、何も失わず、たった四年間しか刑務所に入らないんだと思いました。

この話を知るまで、母に弟がいたこと、私のおじさんに当たる人がいることを知りませんでした。私は、今いないおじに会ってみたいと思ったし、おじの命をうばった人、不本意に人の命をうばった人を許してはいけなかったと思います。

母から、弟と二人でふるさとの良さやふるさとに帰ってからしたいことを話し合っていたそうです。それから数時間後、弟が交通事故に遭ったことを知ったと言っていました。数時間前までは生きていた大事な人が急に自分の目の前からいなくなったりするのは、どうしようもないほどの悲しみや不安、一人になってしまったという孤独を感じると思います。私は実際に経験したことはありませんが、母や祖母は、そのどうしようもない感情にひたっていたと思います。母と弟は二人姉弟だったため、弟が亡くなって、母が「一人になってしまった」と、言っていたと祖母から聞きました。人の命って自分が思っているよりも、こわれやすく、なくなりやすいことに気づかされました。

この交通事故から二十二年たち、祖母も母も生きています。私は三人姉弟で、弟が二人います。なぜ三人姉弟なのか不思議に思い、母に聞いてみると、「もし一人いなくなったとしても、一人ともう一人が姉弟で支え合って生きていくため」だと話してくれました。事故から二十二年たちますが、母も祖母も、弟の事故は昨日のような出来事だと言っています。

私にとって二十二年は自分が生きた時間より長いから、想像もつかないけど、被害にあった家族は、鮮明に記憶が残っているから、加害者や加害者の家族は忘れたとしても、被害者の家族の心に残り、一生傷ついているから、私はこの出来事を忘れてはいけけないので、子供ができたら子供に伝えるし、孫やひ孫にも伝えて、交通事故のおそろしさ、日頃の生活のありがたさを多くの人の心の中に留めて交通事故に対する意識や、自分にとっての当たり前をみんなの当たり前に、交通事故のない社会になってほしいです。

みんな、生きていることは当たり前ではない、今日生きていることがきせきで、明日死ぬかも知れない。家族と食事をする。「おはよう」や「おやすみ」、「いってきます」、「ただいま」を言える。友達としゃべる、遊べることは、すごく幸せだと思います。この幸せを世界中の人達に訪れる日を私は願っているし、生きているだけで幸せだとみんなが思う世界を創っていきたくです。

## 【被害者支援自動販売機の設置に協力いただいている企業様】

～ご協力いただき、誠にありがとうございます～

- アシード(株)
- (株)アペックス西日本
- (株)光ベンディング
- (株)麒麟ビバックス
- コカ・コーラボトラーズジャパン(株)
- ネオス(株)
- 森田製菓(株)
- (有)日本海商事



## ホンデリング

～本でひろがる支援の輪～

あなたの本が、犯罪被害に遭って  
苦しんでいる方たちへの  
支援活動につながります。



### お申し込み方法

本、アルバムCD、DVDを段ボールに詰めます。

チャリボンWEBサイトの「全国被害者支援ネットワークのページ」にアクセス。末尾の「本で寄付する」をクリックし、お申し込みフォームに必要事項を入力（個別コード欄に〈N39〉を入力）し送信。  
ご指定の日に宅配業者が引き取りに伺います。

買取相当額が島根被害者サポートセンターに寄付されます

## 賛助会員への入会・ご寄付のお願い

### 【賛助会員年会費】

- \*個人 1□ 2,000円
- \*法人・団体 1□ 10,000円

- シヤ シマネ ヒガイシャ
- 座名義：公益社団法人島根被害者サポートセンター
  - 山陰合同銀行 県庁支店（普通）3641702
  - 島根銀行 本店（普通）0720538
  - 鳥取銀行 松江支店（普通）0051582

（いずれの口座も口座名義は同じです）

賛助会費や寄付は、税制上の優遇措置が受けられます。

### 法人の場合

一般寄付金の損金算入限度額とは別に別枠の損金算入額が設けられており、その限度額までの寄付金額を損金に算入できます。

### 個人の場合

所得税：「所得控除制度」又は「税額控除制度」のいずれかの制度を選択できます。

住民税：県民税及び市町村のうち条例指定されている市町村民税について税額控除の対象となります。

※詳しくは国税庁のHP、住民税については島根県やお住まいの市町村のHPをご覧ください。

発行・編集

公益社団法人  
島根被害者サポートセンター



〒690-0011 松江市東津田町 1741-3  
TEL 0852-32-5928 FAX 0852-33-7928  
e-mail info@shimane-vsc.or.jp  
HP http://www.shimane-vsc.or.jp

当センターの活動は、皆様から寄せられる会費・ご寄付により支えられています。

活動に賛同していただける賛助会員を募集しております。ご入会いただける方は事務局までご連絡ください。賛助会員申込書及び振込用紙をお送りします。